

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 14名回答、回答率 50%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

発達支援室は正方形に近い作りのため活動によっては物理的な距離が取りにくく、発達支援内で静かに過ごすスペースを確保するため簡易的に仕切りを作ったり、児童が集中して勉強に取り組む事ができるように机の配置を工夫している。運動系の遊びを行う際に、周囲に物が置かれていないスペースで行うように促したり、人数が多い時間帯は座ってできる遊びに誘導するなど工夫している。

### ○業務改善

業務改善について、日々の振り返りや情報共有、保護者からの要望や評価への対応は、ほとんどの職員が適切にできていると評価している。また、法人内・事業所内で研修の機会も設けられている。

### ○適切な支援の提供

在籍する職員は、子どもの適切なアセスメント、保護者のニーズの把握ができており、適切な支援プログラムが作成できていると感じている。また、チームで活動プログラムを立案し、打合せにより日々情報共有、支援の工夫をすることができていると感じている。

### ○関係機関や保護者との連携

相談支援事業所とは適宜連携することができているが、医療、保育、教育機関等の連携不足と感じている。学校との情報共有については、日々児童の様子を共有したり、下校時刻表や行事予定について報告の共有も行ってもらっている。

### ○保護者への説明責任等

今年度から土曜開室につき、特別な支援内容や利用者負担への説明が生じる場面が多かったが、適宜説明を行うことができた。連絡遅れにより伝えるのが直前となってしまうこともあったため、確認をしっかりと行う。

### ○非常時等の対応

避難訓練の内容については、毎月児童が緊張感・関心をもって参加できるよう工夫を行った。土曜開室につき、外出や昼食購入・外出活動が増えたため、緊急時対応やアレルギー対応について、これまでに以上により緊張感をもって対応している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

人員配置については、7割の方に適切とご回答いただいたが、一部「人手不足感を感じる」「先生が何名いるのか分からないので、職員紹介のお手紙等があると良い」とご意見をいただいた。生活空間については、8割以上の方に適切とご回答いただいたが、「もっと気持ちを落ち着かせる部屋とか分けた方がいい」「生活空間に関してもお手紙やブログ、ホームページに記載があると良い」とご意見をいただいた。清潔感については「どちらとも言えない」と3割程の保護者様よりご意見をいただいた。

### ○適切な支援の提供

支援内容については、7～9割の方に適切とご回答いただき、「子どものリクエストに応じてくださっている」と評価いただいた。一方で、「十分に理解してくれるほどスタッフに余裕がないと思う」「預けている側は過ごしている時間を見ているわけではないのでなんとも言えない」というご意見もいただいた。

### ○保護者への説明等

保護者への説明、情報共有については、7～9割の方に適切とご回答いただいた。事業所で行う保護者支援プログラムや保護者会等については、「個人的には不要だと感じる」という意見と、「あれば参加したい」の意見がどちらもみられた。

### ○非常時等の対応

緊急時・災害時対応について、6～7割の方に適切とご回答いただいた。定期的に行う避難訓練の実施についてはご理解いただけているが、スタッフ側の緊急時・防災マニュアル、安全計画等の周知については、「わからない」と回答される方が比較的多かった。

### ○満足度

7～8割の方に満足いただいていた。「子ども楽しみに通い、とてもいい経験をさせて頂いています」と評価いただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・療育参観・保護者会を定期的を実施し、適宜保護者からの疑問点に対応する。
- ・スタッフ体制が変わっても、対応にばらつきが出ないよう児童・保護者対応、事務的業務の方法を確立、マニュアルを作成し、全体で共有することで誰でも対応できるようにする。
- ・祝日開室日が月曜に偏っているため、土日に臨時開室日を検討し、よりバリエーション豊富なイベントを開催する。
- ・法人内他事業所と連絡をとり合い、合同のイベント等を企画する。
- ・訓練の様子をブログ等で公開し、ブログ更新をした際に保護者に周知する。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・2月に療育参観を実施した。
- ・土曜開室を開始様々な企画を立てて利用者の利用率を上げることができた。
- ・スタッフ同士意識して児童の情報共有を日々行うことができた。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・職員間でコミュニケーションがとれており、日々の振り返りや情報共有を円滑に行うことができている。
- ・支援プログラムについて、チームで立案することができる。
- ・多くの方が通所を楽しみにしてくれていて支援に満足いただけている。

### ○改善点

- ・「職員が何名いるのか分からない」や、緊急時・防災マニュアル、安全計画等の周知について、「わからない」と回答される保護者の方が多く周知はしているものの対応が十分ではない。
- ・土曜日の活動内容や利用希望の案内が遅れてしまうことがあった。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・各種お便りの配布、ブログ発信、対面でのお知らせなど事業所の情報発信のツールや頻度を高め保護者へ伝わる周知をおこなう。
- ・土曜日の活動や利用希望を余裕を持って保護者へ案内していく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・職員紹介のお便り配布、またニュースレターなどで職員紹介をおこなう。
- ・保護者会や療育参観を年2回以上おこない、対面での情報共有、提供をおこなう。
- ・ブログやニュースレターなどを活用し情報発信をおこなう。
- ・土曜日の活動や利用希望のお便りを早めに作成し、前月の中旬までには配布をおこなう。また配布だけではなく、メールや対面等でも合わせて周知をおこなっていく。